

## 会議録

日 時	平成 30 年 9 月 12 日 (水) 18:30~21:00
会 場	本庁舎 5 階 委員会室
出席委員	渡邊憲介委員 (会長)、福与春美委員 (副会長)、 堀允千委員、椿野次男委員、木村貴信委員、数納華代委員 成田俊樹委員
欠席委員	西澤美香委員、斎藤圭美委員、中山美帆委員
市出席者	仲野子育て支援部長、高橋子ども家庭課長、記内子ども家庭課主査、金田子ども家庭課主事

●事務局： 皆さまこんばんは。委員の皆様におかれましては、先般の台風、そして胆振東部地震の発生から日も浅く、その対応に追われお疲れのところ、本日子どもの権利推進委員会にご出席いただきまして、心から感謝申し上げます。市ではこの 4 月の機構改革で「子育て支援室」から独立して「子育て支援部」となりました。その担当部長として異動になりました仲野と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、本会議では子どもの権利に関する施策について、総合的、計画的に推進して行くために第 2 次計画を策定したところでございますが、その中で、子どもの貧困対策を検討するための調査を実施したいと考え、本日「子どもの実態調査アンケート」について、ご審議いただくことになっています。委員の皆様におかれましては、お手数をおかけしますが、宜しくお願いいたします。

○会 長： 先日の地震発生で、皆さんが大変なところお集まりくださりましてありがとうございます。ただいまから平成 30 年度第一回北広島市子どもの権利推進委員会議を開催したいと思います。

それでは議事に入ります。事務局から、議案であります「子どもの実態調査」について説明をお願いいたします。

●事務局： (子どもの実態調査概要について、資料に基づき各委員に説明)

○会 長： これまでの事務局側の説明について、質問などありましたら、お願いします。

○A委員： 単純な質問ですが、16P 無利子、無利子または低利子で各種資金の貸し付け制度となっているが、この文言で間違いはありませんか？

●事務局： 確認漏れでした、訂正させていただきます。

○会 長： その他に質問はありませんか？

○A委員： アンケートの中に、小学生には読めない漢字が多くあるように思いますが、ルビはつけないのでしょうか？感じが多いと子どもの回答意欲が薄れたり、面倒になって回収率が下がってしまうのではないかと心配になりました。

●事務局： 難しい漢字については、ルビを振るように配慮します。

○会 長： ありがとうございます。その他に何かございませんか？

○B委員： 配布先の地区について、東部、西の里、大曲、西武、北広島団地等の人口割合といたしますか、世帯数の割り当てをどのようにするのですか？

## 会議録

---

- 事務局： この年齢の対象の子どものいる全世帯に配布を考えています。
- 会 長： よろしいでしょうか。他にご質問はありませんか？
- C委員： アンケートの子どもの居場所の中の件ですが、北広市に「子ども食堂」はあるのでしょうか？
- また、子どもの性別を問う必要はあるのかどうか？子どもの朝食について、食べているかどうかの前に、そもそも準備されているのかどうかを問うのがいいのではないかと思います。
- 最後に、いじめを受けたことについての設問にも、語尾が嫌なことを「された」を「した」と修正したほうが良いのではないのでしょうか？
- 会 長： 事務局、お願いします。
- 事務局： 市内の子ども食堂については、現在3か所の存在を把握しています。しかし、確実な数ではないので、項目に入れるかどうか、性別に関しても、検討したいと思います。また、朝食の準備をされているかどうかについても、付け加える方向で調整したいと思います。
- もう一つの「された」を「した」との文言についても、修正したいと思います。
- C委員： 子ども食堂があるのであれば、それは「子どもの居場所」になると思うので、アンケートの設問に加えていくというのはいかがでしょうか？もう一つの意見として、性別が統計に必要なのであれば、私は要らないのではないかと思います。これは、意見です。
- 事務局： 子ども食堂については、設問に加える方向で、性別については、持ち帰って検討します。
- 会 長： ありがとうございます。他にいかかでしょうか？
- D委員： 質問ですが、このようなアンケートは過去にも調査したことがあるのか、今回は初めてなのかどうか確認したいです。また、道や国とかで似たようなアンケートがあって、その項目を参考にこれらの設問になっているのかを、教えていただきたい。
- 事務局： この調査は、今回は初めての調査となります。アンケート内容については、札幌市と道が行った内容と比較しやすくするために、道の調査項目をベースにして、かなり近い内容になっています。
- D委員： 実際に道のほうで、このようなアンケートを行い、その回収率は何%くらいだったのでしょうか？この内容を、小学5年生が見た時に一つ一つ考えて回答できるかどうか・・・ある程度、学校のほうで働きかけをすると、回答率も上

## 会議録

がると思うのですが、何もしなくて自主的にとなると、果たしてどれくらい回答してくれるのか・・・半分くらいになるかもしれないと思うのですが。

●事務局： 道の回収率は確認していないのですが、札幌市ではおよそ7割に近い回収率となっていると聞きました。学校を通して配布回収協力をお願いして、やっていただいたところでは、かなり高い回収率となっているという話は聞いているところでは。

○会長： 他に質問はございませんか？なければ、私からですが、親御さんに対する質問ですが、かなり結構シビアな部分がありますね。ここらあたりは、道や札幌市ではきちんと回答はできていたようですか？預貯金とかローンの借金があるのかどうかとかは、かなりシビアですよ。

●事務局： その点の回答については、飛ばして回答されることも想定しています。集計に影響があるかという、飛ばされても大丈夫と考えています。

○会長： 分かりました。ありがとうございます。他にありませんか？

○E委員： 子どもの回答に保護者様を書いてくださいとありますが、これだと子どもの本心が見えないのではないかと思います。それから、今の子どもたちは宿題も多く、勉強に追われているかもしれず、急に活字でバンと出されても、拒否反応が起きてしまうのではないかと心配です。

今の時代、ネットもあるので、ネットでのアンケートでもいいのかな・・・とも思いました。あと、子ども用に簡単なアンケートで本人が書けるようなものもあれば、実際に子どもが思っていることを書きやすいのではないかと思いました。

●事務局： 調査票の内容については、できるだけ子ども本人で応えられるよう、配慮してきましたが、更に簡単に子どもが応えやすいように修正したいと思います。内容もかなりボリュームがあって、活字が多いということについては、回収に長い期間を取って設定したいと考えていました。また、ネットでのアンケート調査についてはこれまで検討してこなかったもので、今すぐの対応には難しいかもしれませんが、今後のこのような調査に当たっては検討します。

○会長： ありがとうございます。他にご意見やご質問がなければ、その他の案件についてご説明を事務局からお願いします。

●事務局： 昨年度、推進委員会の方からご提案のあった、札幌市子どもの権利救済機関（子どもアシストセンター）の見学について、事務局側に問い合わせをしましたところ、視察希望の快諾をいただいております。日程調整後、各委員あてにご案内を差し上げたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、議題にはありませんが本市における「子ども・子育て支援の状況」等

## 会議録

---

について、担当課長から報告いたします。

●事務局：（台風 21 号、胆振東部地震による市内公立、私立保育施設、学童クラブ、児童センター、子育て支援センター、子ども発達支援センターの被害状況などについて、及び本市における「子ども・子育て支援の状況」について、各委員に説明）

○会 長： ありがとうございます。ただ今の報告で何かご質問などはないでしょうか？

○A委員 教えていただきたいのですが、3Pの地域型で「こどものもり」とありますが、この地域型というのは、どういうことでしょうか？

●事務局： 0～2歳までを対象とする小規模の保育施設で、定員は19名以下の小規模の保育施設になります。

○A委員： それは、支援と言いますか全く個人なのでしょうか？

●事務局： 社会福祉法人又は学校法人が経営されており、この「こどものもり」は学校法人の広島幼稚園が経営している保育園になります。

○A委員： もう一つ、4P学童クラブ入所状況についての欄に、大曲と広葉ではAとBの区分があるのはどういうことでしょうか？

○会 長： 事務局お願いします。

●事務局： 学童クラブの適正規模はおおむね40人程度が望ましいという事になっておりまして、その二か所については人数が多いので、AとBの二クラスに分けているという事です。

○A委員： 同じ建物の中に、Aクラス、Bクラスがあるという事なのですね。分かりました、ありがとうございます。

○A委員： 他にご質問はありませんか？

○C委員： 市の子育て支援部というのは、部員全体では何人位おられるのですか？または、子ども家庭課の課員は何人位おられるのでしょうか？

○会 長： 事務局お願いします。

●事務局： 子育て支援部につきましては、公立の保育園も部内にはいっております、全体の正職員は69名おります。そのうち、子ども家庭課では、非常勤職員、相談員も含め、大体20名位の課になります。

○会 長： ありがとうございます。他にご質問はありませんか？

## 会議録

---

○E委員： 学童クラブは、希望者が増えているようですが、今後増設する予定はあるのでしょうか？結構定員以上の学童クラブが増えてきているようなので、何か増やす案があれば、教えていただきたいと思います。

○会 長： 事務局お願いします。

●事務局： 学童クラブは、小学生なので小学校区の学童クラブに通うことになります。なので、学童クラブによって余裕のある所と、確かに混雑しているというところがあるのは、事実です。現在ですと大曲が少し子どもの数が多いのかなどは、思っていますが、国の一人当たりの面積要件基準値（1.65 m<sup>2</sup>）を、かろうじてクリアしているような状況です。子どもの情緒面や安全面を考えますと、子どもの安全基準値をクリアしているから、必ずしもこの状況がいいのか・・・という部分はありますので、そういう部分を考慮して、施設については検討していきたいと思います。

○会 長： その他に、質問などはございませんか。

なければ、本日はこれで平成30年度第1回子どもの権利推進委員会を終わりたいと思います。